

近世土佐派記録(二)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 京都市立芸術大学芸術資料館 公開日: 2022-11-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松尾, 芳樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15014/00000417

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



近世土佐派記録 (二) 松尾芳樹

京都市立芸術大学芸術資料館に所蔵される「土佐派絵画資料」の中から土佐家に関わる文書の一部を翻刻し紹介する。近世土佐家の絵師12人（光成、光祐、光芳、光淳、光時、光禄、光文、光章、光貞、光孚、光清、光武）の叙位・任官を記録した口宣案83通を選んでいる。関連するものとして、土佐門人と思われる大村豊水の口宣案・官宣旨各1通を加えた。

一〇～一五	口宣案及び包紙（土佐光成）	九四～九八	口宣案及び包紙（土佐光章）
一六～一八	口宣案及び包紙（土佐光祐）	九九～一一七	口宣案及び包紙（土佐光貞）
一九～三六	口宣案及び包紙（土佐光芳）	一一八～一三六	口宣案及び包紙（土佐光孚）
三七～四六	口宣案及び包紙（土佐光淳）	一三七～一五二	口宣案及び包紙（土佐光清）
四七～六一	口宣案及び包紙（土佐光時）	一五三～一五九	口宣案及び包紙（土佐光武）
六二～七八	口宣案及び包紙（土佐光禄）	一六〇～一六二	口宣案・官宣旨及び包紙
七九～九三	口宣案及び包紙（土佐光文）		（大村豊水）

DOCUMENTS OF TOSA SCHOOL IN PRE-MODERN AGE (II) YOSHIKI MATSUO

A part of the documents on the Tosa Family are reprinted from among the collection of the reference materials on the paintings of the Tosa School owned by the Museum. Contents are 83 Kuzen-ans (a form of imperial edict) where the conferment of the rank and the appointment to 12 painters (Mitsunari, Mitsusuke, Mitsufusa, Mitsuatsu, Mitsutoki, Mitsutomi, Mitsubumi, Mitsuaki, Mitsusada, Mitsuzane, Mitsukiyo, Mitsutake) in the Tosa School of the early modern age were recorded. Kuzen-an and Kansenji to Hosui Omura who is believed to be the painter of the Tosa School were added as related materials.

10~15	Kuzen-an with Cover (to Mitsunari Tosa)
16~18	Kuzen-an with Cover (to Mitsusuke Tosa)
19~36	Kuzen-an with Cover (to Mitsufusa Tosa)
37~46	Kuzen-an with Cover (to Mitsuatsu Tosa)
47~61	Kuzen-an with Cover (to Mitsutoki Tosa)
62~78	Kuzen-an with Cover (to Mitsutomi Tosa)
79~93	Kuzen-an with Cover (to Mitsubumi Tosa)
94~98	Kuzen-an with Cover (to Mitsuaki Tosa)
99~117	Kuzen-an with Cover (to Mitsusada Tosa)
118~136	Kuzen-an with Cover (to Mitsuzane Tosa)
137~152	Kuzen-an with Cover (to Mitsukiyo Tosa)
153~159	Kuzen-an with Cover (to Mitsutake Tosa)
160~162	Kuzen-an and Kansenji with Cover (to Hosui Omura)

Key terms: Tosa school, Senji, Mitsunari Tosa, Mitsusuke Tosa, Mitsufusa Tosa, Mitsuatsu Tosa, Mitsutoki Tosa, Mitsutomi Tosa, Mitsubumi Tosa, Mitsuaki Tosa, Mitsusada Tosa, Mitsuzane Tosa, Mitsukiyo Tosa, Mitsutake Tosa, Hosui Omura

近世土佐派記録(二)

- 一〇〃一五 口宣案及び包紙(土佐光成)
- 一六〃一八 口宣案及び包紙(土佐光祐)
- 一九〃三六 口宣案及び包紙(土佐光芳)
- 三七〃四六 口宣案及び包紙(土佐光淳)
- 四七〃六一 口宣案及び包紙(土佐光時)
- 六二〃七八 口宣案及び包紙(土佐光祿)
- 七九〃九三 口宣案及び包紙(土佐光文)
- 九四〃九八 口宣案及び包紙(土佐光章)
- 九九〃一〇七 口宣案及び包紙(土佐光貞)
- 一一八〃一三六 口宣案及び包紙(土佐光孚)
- 一三七〃一五二 口宣案及び包紙(土佐光清)
- 一五三〃一五九 口宣案及び包紙(土佐光武)

土佐光成から光武に至る近世土佐家本家分家の絵師一二名の口宣案八三通とその包紙である。

- 光成みつなり 幼名 藤満丸、法名常山、光起の男
- 正保 三年(一六四六) 一〇月二〇日生
- 宝永 七年(一七一〇) 三月二二日没(六五歳)
- 光祐みつすけ 幼名 藤満丸、初名 光高、法名 常心、光成の男
- 延宝 三年(一六七五) 二月二〇日生
- 宝永 七年(一七一〇) 七月 九日没(三六歳)
- 光芳みつよし 法名 常寛、光祐の男
- 元禄 一三年(一七〇〇) 六月 五日生
- 明和 九年(一七七二) 八月二七日没(七三歳)
- 光淳みつあつ 幼名 藤満丸、光芳の男

享保一九年(一七三四) 八月二六日生

明和 元年(一七六四) 二月 六日没(三一歳)

光時みつとき 幼名 長松丸、字 子中、号 南澗、光淳の子

明和 二年(一七六五) 五月 一日生

文政 二年(一八一九) 八月二七日没(五五歳)

光祿みつろく 幼名 藤満丸、光時の男

寛政 六年(一七九四) 八月 一日生

嘉永 二年(一八四九) 九月 二六日没(五六歳)

光文みつぶみ 幼名 延丸、字 子炳、号 韓水、光孚の男、光祿の嗣子

文化一〇年(一八一三) 三月 二五日生

明治二年(一八七九) 一月 九日没(六七歳)

光章みつあき 幼名 直丸

嘉永 元年(一八四八) 九月 一日生

明治 八年(一八七五) 七月 四日没(二八歳)

光貞みつただ 幼名 茂松丸、字 土享、光芳の次男

元文 三年(一七三八) 七月 九日生

文化 三年(一八〇六) 二月 四日没(六九歳)

光孚みつぶね 幼名 虎若丸、字 子正、号 鶴臯、光貞の男

安永 九年(一七八〇) 四月 二四日生

嘉永 五年(一八五二) 四月 五日没(七三歳)

光清みつきよ 幼名 繁松丸、字 子縷、号 鏡水、光孚の男

文化 二年(一八〇五) 一月 一日生

文久 二年(一八六二) 一月 二二日没(五八歳)

光武みつたけ 幼名 恒丸、光清の男

天保一五年(一八四四) 三月 二二日生

大正 五年(一九一六) 八月 八日没(七三歳)

口宣案の通例に従い全て宿紙が用いられており、一件づつ包紙に納められている。光成の物は包紙に押紙をして内容の一部を記すだけだが、その子光祐以後は包紙表に内容を墨書して整理をした様子がうかがえる。本家筋八名についてみると、光成四通、光祐（光高）二通、光芳十通、光淳五通、光時八通、光禄九通、光章三通。分家四名については光貞十通、光孚十通、光清九通、光武四通となる。口宣案の内容は表（一）にまとめている。

土佐家の口宣案については「土佐家古文書」（東京国立博物館）の中に光信のもの一通（明応五年十二月五日任刑部大輔）、光茂のもの二通（享禄五年六月九日叙正五位下）（同日任刑部大輔）、光元のもの一通（天文十年二月二日任左近衛將監）、光起のもの三通（承応三年三月十日任左近衛將監）（延宝九年五月二十九日叙法橋）（貞享二年四月十二日叙法眼）が含まれるが、本資料はその後に続くものである。画師十二人の叙位任官の記事は全て連続しており、文書の逸失はない。近世土佐派画人に関して、現在流布している評伝書や辞書（朝岡興禎『古画備考』、古筆了仲『扶桑画人伝』、荒木矩『大日本書画名家大鑑』、沢田章『日本画家大事典』等）の不備を整理して、近世絵所預家の叙任の状況が正確に再現できる、これを表（二）に示した。特に叙位について表（三）にまとめたが、土佐光芳以降に叙位を安定して受けるようになったことが判る。絵所預としての地位がこの頃から名実ともに確立したことがうかがえる。概ね十一歳で従六位下を叙され、十八歳で正六位下、二十五歳で従五位下、三十二歳で従五位上、三十九歳で正五位下と七年ごとに叙位されている。四位となるその後は十一年ごとの叙位となつて五十歳で従四位下、六十一歳で従四位上となる。ここに至つたのは分家の光貞・光孚二人にすぎない。これは、彼等が長命であつたことが大きな理由となつたが、本家の光淳が若くして亡くなつた後は、光貞没後の一時期を除いて、分家の絵師の方が本家の絵師より高い位にあつたため、分家の勢力が勝りがちな背景があつた。また、官職の上では本家が左近衛將監を、分家が土佐守を継承する傾向が見られる。

一六〇～一六二 口宣案・宣旨・及び包紙（大村豊水）

宿紙を用いた大村豊水宛口宣案一通と官宣旨一通である。包紙の上書を読みれば寛政四年（一七九二）閏二月八日、故人である大村豊水の口宣案と宣旨をその養子の豊泉が大村家と離縁するにあつて土佐家に預けたものといふことがらしい。「養子豊泉」とあるのは寛政二年の内裏造宮にあたり、土佐派とともに障屏画制作に関わつた大村豊泉と同一人物と見て間違いないだろう（『寛政度御造宮記』による）。明和三年（一七六二）法橋になつたという豊水は光芳と同世代の画師といえるがその伝記は不明である。荒木矩の『日本書画名家大鑑』には「豊泉（画）大村豊泉、寛政二年御造營禁裡御殿廻御繪様筆者の一人、傳記未詳」とある。口宣案保管のやりとりからして豊泉も豊水も土佐派門人の可能性が高い。延享三年（一七四六）に光芳が四七歳で落飾したとき、長男光淳は一三歳、次男光貞は九歳であり、その原因が光芳の眼病のためといわれる当時の土佐家の状況からすると、未熟な後継者を育てるために後見人が必要としたことが考えられる。そこで大村豊水がその立場に置かれたと仮説を立ててみるならば、彼が全く画伝の見えない絵師であるにもかかわらず法橋位に叙せられた理由も、絵所預家への貢献によるものと考えられるし、大村家をでる豊泉が、文書を大村家に遺さずに土佐家に預けた理由も理解されよう。一方大村家を離れた豊泉はどうしたのかといえ、これが従来別人と見られていた高井豊泉ではないかと考えられる。先の『日本書画名家大鑑』には、豊泉という画人を二人記載し、大村豊泉に続き高井豊泉を挙げる。そこには「豊泉（画）高井豊泉、名は孝之、字は子本、京都の人、書を以て法橋に叙せられる、文政頃の人」とある。この高井氏は、文化一三年（一八一六）の清涼殿障屏画修復の際、土佐家の画師（当時最も高位にあつたのは光時）と共に昇殿しており（『土佐派絵画資料目録（三）内裏造宮粉本』中資料〈資料番号三・四〉）、この時既に法橋となつて高井豊泉がなぜ、土佐派の絵画の修復に関わることになつたのか疑問となつてきた。しかし、彼がかつて土佐の門下であり、内裏造宮御用に加わつていた経過を踏まえてのことと見れば理解しやすい。

表(一) 土佐家口宣案一覽

日	付	繪師	種別	旧	新	上卿	職事	目録番号
延宝 九年 一六八一	五月二九日	土佐光成	叙位	正六位上	正六位下	清閑寺照房	清閑寺照房	一一
元禄 九年 一六九六	五月三日	土佐光成	叙位	正六位下	左近衛將監	清閑寺照房	清閑寺照定	一二
	六月九日	土佐光成	叙位	左近衛將監	刑部權大輔	久我通誠	坊城俊清	一四
	二月八日	土佐光高	叙位	正六位下	正六位下	中御門資熙	坊城俊清	一五
	二月二八日	土佐光高	叙位	正六位下	左近衛將監	中御門資熙	坊城俊清	一七
宝永 七年 一七一〇	七月四日	土佐光芳	叙位	正六位上	從六位上	飛鳥井雅豊	坊城俊清	一八
	三月九日	土佐光芳	叙位	從六位上	右近衛將監	飛鳥井雅豊	烏栄光栄	二〇
正徳 六年 一七二六	三月九日	土佐光芳	叙位	正六位上	正六位下	日野輝光	烏栄光栄	二二
享保一〇年 一七二五	二月七日	土佐光芳	叙位	正六位下	從五位下	烏丸光栄	烏栄光栄	二四
享保一一年 一七二六	二月四日	土佐光芳	叙位	左近衛將監	大藏少輔	園基香	中御門宣誠	二六
享保一二年 一七二七	九月三〇日	土佐光芳	叙位	從五位上	從五位上	三條実顕	中御門宣誠	二八
元文 四年 一七三九	一月二五日	土佐光芳	叙位	從五位上	正五位下	中山栄親	庭田重熙	三二
元文 四年 一七三九	一月二五日	土佐光芳	叙位	大藏少輔	彈正少忠	大炊御門経秀	庭田重熙	三四
寛保 三年 一七四三	八月二九日	土佐光芳	叙位	彈正少忠	左京少進	柳原光綱	烏丸清胤	三六
延享 元年 一七四四	二月四日	土佐光淳	叙位	從六位上	從六位上/左近衛將監	廣橋兼胤	烏丸清胤	三八
寶曆 三年 一七五三	一月二六日	土佐光淳	叙位	左近衛將監	內藏少屬	中山栄親	油小路隆前	四〇
寶曆 三年 一七五三	一月二六日	土佐光淳	叙位	內藏少屬	內藏大允	正親町三條公積	油小路隆前	四二
寶曆 四年 一七五四	一月二六日	土佐光貞	叙位	正六位上	從六位上/内匠大属	鳥丸光胤	油小路隆前	四四
寶曆 八年 一七五八	二月八日	土佐光貞	叙位	正六位上	從六位下	正親町実連	日野資枝	四六
寶曆 一一年 一七六一	四月二四日	土佐光貞	叙位	從六位上	從六位下	難波宗城	廣橋伊光	四八
寶曆 一三年 一七六三	一月二六日	土佐光貞	叙位	内匠大属	内匠大允	廣橋兼胤	廣橋伊光	一〇四
明和 元年 一七六四	閏二月九日	土佐光貞	叙位	内匠大允	左近衛將監	廣橋兼胤	廣橋頭光	一〇六
明和 五年 一七六八	一月三〇日	土佐光貞	叙位	正六位上	從五位下	廣橋兼胤	廣橋頭光	一〇八
安永 四年 一七七五	一月三日	土佐光貞	叙位	從五位下	從五位上	柳原光房	鳥丸光祖	一一〇
	六月二日	土佐光貞	叙位	左近衛將監	土佐守	柳原光房	鳥丸光祖	一一一
天明 二年 一七八二	一月二四日	土佐光貞	叙位	從六位上	左近衛將監	柳原光房	鳥丸光祖	一一二
	一月五日	土佐光貞	叙位	從五位上	正五位下	松木宗義	油小路隆彭	一一三
天明 九年 一七八九	一月二八日	土佐光時	叙位	正六位上	正六位下	花山院愛徳	油小路隆彭	一一五
寛政 二年 一七九〇	二月二八日	土佐光時	叙位	正六位上	從六位上	甘露寺篤長	廣橋胤定	一一九
寛政 四年 一七九二	二月二八日	土佐光時	叙位	正六位上	備後介	甘露寺篤長	柳原均光	一二〇
寛政 八年 一七九六	二月九日	土佐光時	叙位	正五位下	從四位下	三條実起	廣橋胤定	一一五
寛政 九年 一七九七	二月七日	土佐光時	叙位	從五位上	從五位上	日野資矩	柳原均光	一一二
享和 二年 一八〇二	二月一日	土佐光時	叙位	從四位上	正六位上	廣橋胤定	鳥丸資重	一一七
享和 三年 一八〇三	四月五日	土佐光時	叙位	從五位上	從四位上	四辻公万	裏松明光	一五七
享和 四年 一八〇四	一月三日	土佐光時	叙位	正六位下	從五位下	廣橋胤定	甘露寺国長	一二四

*本表は目録に収録した口宣案一通ごとの内容をその年紀によって配列し、整理したものである。

慶応二年	文久三年	文久元年	安政三年	嘉永七年	嘉永五年	嘉永二年	天保五年	天保三年	天保二年	天保二年	天保四年	天保六年	文政二年	文政二年	文政四年	文政九年	文政元年	文化二年	文化〇年	文化八年	文化三年	文化元年
一八六六	一八六三	一八六一	一八五六	一八五四	一八五二	一八四九	一八四四	一八四二	一八四〇	一八三九	一八三五	一八二九	一八二八	一八二六	一八二一	一八一八	一八一四	一八一三	一八一三	一八一六	一八〇六	一八〇四
八月二四日	八月二〇日	八月二〇日	三月一日																			
土佐光章	土佐光文	土佐光武	土佐光章	土佐光武																		
任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙	任叙
官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位	官位
伊予介	左近衛將監	左近衛將監	從五位上																			
左近衛將監	備前守	備前守	伊予介																			
葉室長順	葉室長順	葉室長順	日野資宗																			
葉室長順	葉室長順	葉室長順	萬里小路正房																			
九三	九二	九二	九五																			
九八	九三	九二	九五																			

② ① 本表は口宣案の記事に見る叙任の記録を絵師の生没年と共に年表形式で一覽表にしたもの。
各絵師とも上段に生没年、中段に叙位記録、下段に任官記録を記している。

明治	慶応	文久	安政	嘉永	弘化	天保	文政	文化	享和	寛政	天明				
		元治	万延												
1850									1800						
									6	92		82			
									従四位上	従四位下	正五位下	従五位上			
									土佐守						
				52								80			
					40	29	18	11	6	4	97	90			
				正四位下	従四位上	従四位下	正五位下	従五位上	従五位下	正六位下	従六位上	光孚			
				土佐守					備後介						
			62								5				
				54	52	42	35	28	21	14	光清				
			従四位下	正五位下	従五位上	従五位下	従六位下	従六位上							
			土佐守		伊勢守			豊前介							
(1916)					44				19						
		69	63	61	54					14	13	03	96	89	82
		正六位下	従六位上	光武				従四位下	正五位下	従五位上	従五位下	正六位下	従六位上		
		土佐介 豊前介						伯耆守		左近衛将監					
					49				94						
					44	35	33	26	18	13	11	4	光禄		
					従四位下	正五位下	従五位上	従五位下	正六位下	従六位上					
					三河守		左近衛将監			上野介					
79										13					
		69	66	56	49	42	35	28					光文		
		従四位下	正五位下	従五位上	従五位下	正六位下	従六位上								
		備前守		左近衛将監			肥後介								
75						48									
		69	66	63											
		従六位上		光章											
左近衛将監		伊予介													
明治維新		68		55	54				90				88		
		安政度		寛政度				内裏造				造営			

表(三) 土佐家絵師叙位一覧

従五位下	正六位下	従六位上	位階
光光光光光光光光光 文清禄孚時貞淳芳成 ★ ★★	光光光光光光光光光光 武文清禄孚時貞淳芳高成 ★	光光光光光光光光光光 章武文清禄孚時貞淳芳	絵師
三五二二二二三二二五 〇四五五五六一	一一一一一一一一二二二二 八三七八八八四八七二六	一一一一一一一一一一一一 六一六〇一一一一七一	年齢
七 七 七 七 七 七 七 九 五	七 七 七 七 七 七 七 七 七 六 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	前回からの経年数
天保三年一月九日 文政元年二月九日 文政元年七月四日 享和四年一月三日 天明九年一月八日 明和五年二月八日 宝暦八年二月七日 享保元年二月七日 元禄九年五月三日	文久元年四月五日 天保六年八月三日 文政四年二月三日 文化八年二月四日 寛政九年二月七日 天明二年一月四日 宝暦元年四月四日 寛延四年一月六日 正徳六年三月九日 元禄九年二月八日 延宝九年五月九日	文久三年三月一日 嘉永七年三月四日 文政元年三月三日 文化元年三月八日 文化元年二月八日 寛政二年六月八日 安永四年一月六日 宝暦四年二月四日 延享元年二月四日 宝永七年七月四日	日付
八四二 八一八 八〇四 七八九 七六八 七五八 七二五 六九六	八六一 八三五 八二一 八一七 七九七 七八二 七六一 七五一 七一九 六九六 六八一	八六三 八五四 八二八 八一四 八〇四 七九〇 七七五 七五四 七四四 七一〇	付
八 四 七 二 五 〇 四 二 六 一 四	一 五 八 四 六 二 五 〇 四 二 一 七	九 五 八 三 六 一 四 〇 三 八 〇	目録番号

《土佐光成》

一〇 口宣案包紙

三六・六×五・九 cm

(旧目錄四二一一六―一〇)

[表押紙]

正六位下 式通 光成

左近衛將監

[裏押紙]

上卿清閑寺權大納言照房卿

一一 口宣案(延宝八年叙正六位下・光成)

三三・八×五二・三 cm

(旧目錄四二一一六―二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿權大納言

延寶九年五月廿九日 宣旨

藤原光成

宜叙正六位下

藏人左少辨藤原熙定奉

一二 口宣案(延宝九年任左近衛將監・光成)

三三・九×五二・三 cm

(旧目錄四二一一六―一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿權大納言

延寶九年五月廿九日 宣旨

正六位下藤原光成

宜任左近衛將監

藏人左少辨藤原熙定奉

一三 口宣案包紙

三六・七×六・四 cm

(旧目錄四二一一五―一〇)

[表押紙]

從五位下 二通 光成

刑部權大輔

[裏押紙]

上卿久我大納言通誠卿

一四 口宣案(元禄九年叙從五位下・光成)

三四・一×五二・五 cm

(旧目錄四二一一五―二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿久我大納言

元禄九年五月廿三日 宣旨

正六位下藤原光成

宜叙從五位下

藏人頭左中辨藤原俊清奉

一五 口宣案(元禄九年任刑部權大輔・光成)

三四・一×五二・五 cm

(旧目錄四二一一五―二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿久我大納言

元祿九年六月廿九日 宣旨

左近衛將監藤原光成

〔端裏書〕
宜任刑部權大輔

藏人頭左中辨藤原俊清奉

《土佐光高》

一六 口宣案包紙

三五・八×六・三 cm

(旧目錄四二一—一〇)

〔表押紙〕

正六位下

二通

中光高^カ
光祐

左近衛將監

〔裏押紙〕

上卿中御門權大納言資熙卿

一七 口宣案 (元祿九年叙正六位下・光祐)

三四・〇×五二・〇 cm

(旧目錄四二一—一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權大納言

元祿九年二月廿八日 宣旨

藤原光高

宜叙正六位下

藏人頭左中辨藤原俊清奉

一八 口宣案 (元祿九年任左近衛將監・光祐)

三四・〇×五二・〇 cm

(旧目錄四二一—一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權大納言

元祿九年十二月廿八日 宣旨

正六位下藤原光高

宜任左近衛將監

藏人頭左中辨藤原俊清奉

《土佐光芳》

一九 口宣案包紙

三五・七×七・三 cm

(旧目錄四二一—三二一〇)

〔上書〕

口宣

右近衛將監光芳

二〇 口宣案 (宝永七年叙從六位上・光芳)

三四・〇×五二・五 cm

(旧目錄四二一—三二一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿飛鳥井中納言

寶永七年七月四日 宣旨

藤原光芳

宜叙從六位上

藏人右少辨藤原光榮奉

二一 口宣案 (宝永七年任右近衛將監・光芳)

三四・〇×五二・六 cm

(旧目錄四二一—三二一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿飛鳥井中納言

寶永七年七月四日 宣旨

從六位上藤原光芳

宜任右近衛將監

藏人右少辨藤原光榮奉

二二 口宣案包紙

三五・〇×七・五 cm

〔上部押紙〕

上卿日野大納言輝光卿

職事鳥丸右中辨光榮

〔下部押紙〕

正徳六申三月十九日

正六位下左近衛將監勅許

口宣案一通

藤原光芳

二三 口宣案（正徳六年叙正六位下・光芳）

三四・〇×五二・六 cm

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

正徳六年三月十九日 宣旨

從六位上藤原光芳

宜叙正六位下

藏人右中辨藤原光榮奉

二四 口宣案（正徳六年任左近衛將監・光芳）

三四・〇×五二・五 cm

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

正徳六年三月十九日 宣旨

右近衛將監藤原光芳

宜轉任左近衛將監

藏人右中辨藤原光榮奉

二五 口宣案包紙

三五・二×六・八 cm

〔上書〕

享保十年巳十二月七日 叙爵

鳥丸

上卿日野大納言光榮卿

職事中御門右中辨宣誠

左近衛將監藤原光芳

二六 口宣案（享保十年叙從五位下・光芳）

三四・〇×五二・九 cm

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

享保十年十二月七日 宣旨

正六位下藤原光芳

宜叙從五位下

藏人右中辨藤原宣誠奉

二七 口宣案包紙

三五・三×六・五 cm

(旧目錄四二二―二九一〇)

〔上書〕

享保十一年午二月十四日遷任

上卿園大納言基香卿

職事中御門右中辨宣誠

大藏少輔藤原光芳

二八 口宣案(享保十一年任大藏少輔・光芳)

三四・一×五二・八 cm

(旧目錄四二二―二九一〇)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿園大納言

享保十一年二月十四日 宣旨

左近衛將監藤原光芳

宜任大藏少輔

藏人右中辨藤原宣誠奉

二九 口宣案包紙

三五・二×七・二 cm

(旧目錄四二二―二八一〇)

〔上書〕

享保十六年亥九月晦日 加階

上卿三條大納言

職事滋野井頭中將實全朝臣

大藏少輔藤原光芳

三〇 口宣案(享保十六年叙從五位上・光芳)

三四・一×五二・七 cm

(旧目錄四二二―二八一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿三條大納言

享保十六年九月卅日 宣旨

從五位下藤原光芳

宜叙從五位上

藏人頭右近衛權中將兼春宮亮藤原實全奉

三一 口宣案包紙

三六・三×六・六 cm

(旧目錄四二二―二七一〇)

〔上書〕

元文二巳年十一月十五日叙正五位下

上卿中山中納言榮親卿

職事庭田頭中將重熙朝臣

大藏少輔光芳

三二 口宣案(元文二年叙正五位下・光芳)

三四・三×五二・八 cm

(旧目錄四二二―二七一〇)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿中山大納言

元文二年十一月十五日 宣旨

從五位上藤原光芳

宜叙正五位下

藏人頭右近衛權中將源重熙奉

三三 口宣案包紙

三五・五×五・八 cm

(旧目錄四二二二六〇)

[上書]

元文四年未十一月廿五日任彈正少忠

光芳

上卿大炊御門權大納言經秀卿

職事庭田頭中將重熙朝臣

三四 口宣案 (元文四年任彈正少忠・光芳)

三四・二×五二・九 cm

(旧目錄四二二二六一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿權大納言

元文四年十一月廿五日

宣旨

大藏少輔藤原光芳

宜任彈正少忠

藏人頭右近衛權中將兼美作權守源重熙奉

三五 口宣案包紙

三四・五×六・八 cm

(旧目錄四二二二五〇)

[上書]

寛保三年八月廿九日任左京少進

上卿柳原中納言兼左兵衛督光綱卿

光芳

職事鳥丸左中辨清胤

三六 口宣案 (寛保三年任左京少進・光芳)

三三・七×五二・三 cm

(旧目錄四二二二五一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿左兵衛督

寛保三年八月廿九日 宣旨

彈正少忠藤原光芳

宜任左京少進

藏人右中辨藤原清胤奉

《土佐光淳》

三七 口宣案包紙

三四・六×六・二 cm (二重)

(旧目錄四二二二四〇)

[上書]

延享元甲子十二月

上卿廣橋中納言兼胤卿

左近衛將監從六位上光淳

職事鳥丸頭辨清胤朝臣

三八 口宣案 (延享元年叙從六位上任左近衛將監・光芳)

三三・一×五一・四 cm

(旧目錄四二二二四一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿師中納言

延享元年十二月四日

宣旨

藤原光淳

宜叙從六位上任

左近衛將監

藏人頭右大辨藤原胤奉

三九 口宣案包紙

三四・八×六・八 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[上書]

寛延四年正月廿六日

上卿甘露寺大納言規長卿

正六位下行左近衛將監光淳

職事油小路頭中將隆義朝臣

口宣案

[表墨書]

上卿尹大納言

寶曆三年十一月三日 宣旨

左近衛將監藤原光淳

宜令任内藏少属

藏人頭左右衛權中將藤原隆義奉

四〇 口宣案(寛延四年叙正六位下・光淳)

三三・五×五・六 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿新大納言

寛延四年正月廿六日 宣旨

從六位上藤原光淳

宜令叙正六位下

藏人頭左近衛權中將藤原隆義奉

四三 口宣案包紙

三四・二×六・八 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[上書]

寶曆三年十二月廿二日

上卿正親町三條師中納言公積卿

内藏大允藤原光淳

職事油小路頭中將隆前朝臣

四四 口宣案(宝曆三年任内藏大允・光淳)

三三・二×五・五 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿帥中納言

寶曆三年十二月廿二日 宣旨

内藏少属藤原光淳

宜令轉任大允

藏人頭右近衛權中將藤原隆前奉

四一 口宣案包紙

三四・八×六・八 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[上書]

宝曆三年十一月三日

上卿中山尹大納言采親卿

内藏少属藤原光淳

職事油小路頭中將隆義朝臣

四二 口宣案(宝曆三年任内藏少属・光淳)

三三・二×五・六 cm

(旧目錄四二一三一一〇)

[端裏書]

四五 口宣案包紙

三四・一×六・八 cm (二重)

(旧目錄四二一三一一〇)

〔上書〕

宝曆八年二月八日

上卿鳥丸大納言光胤卿

職事日野右中辨資枝

從五位下藤原光淳

四六 口宣案（宝曆八年叙從五位下・光淳）

三二・五×五〇・八cm

（旧目錄四二二―二四一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

寶曆八年二月八日 宣旨

正六位下藤原光淳

宜叙從五位下

藏人右中辨藤原資枝奉

《土佐光時》

四七 口宣案包紙

三四・八×六・八cm

（旧目錄四二二―二四一〇）

〔上書〕

安永四年六月廿二日 宣下

畫所預

上卿柳原中納言光房卿

從六位上行左近衛將監藤原光時

職事鳥丸頭辨光祖朝臣

四八 口宣案（安永四年從六位上・光時）

三二・二×五〇・六cm

（旧目錄四二二―二四一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

安永四年六月廿二日 宣旨

藤原光時

宜叙從六位上

藏人頭左大辨藤原光祖奉

四九 口宣案（安永四年任左近衛將監・光時）

三二・一×五〇・四cm

（旧目錄四二二―二四一二）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

安永四年六月廿二日 宣旨

從六位上藤原光時

宜任左近衛將監

藏人頭左大辨藤原光祖奉

五〇 口宣案包紙

三五・五×七・〇cm

（旧目錄四二二―二三一〇）

〔上書〕

天明二年十一月廿四日 宣下

上卿花山院中納言愛德卿

正六位下行左近衛將監藤原朝臣光時

職事油小路頭中將隆彭朝臣

五一 口宣案（天明二年叙正六位下・光時）

三四・二×五二・二cm

（旧目錄四二二―二三一一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿花山院中納言

天明二年十一月廿四日 宣旨

從六位上藤原光時

宜叙正六位下

藏人頭左近衛權中將藤原隆彰奉

五二 口宣案包紙

三五・二×七・〇 cm

(旧目錄四二二二一〇)

〔上書〕

天明九年正月十八日 宣下

画所預

上卿甘露寺中納言篤長卿

從五位下左近衛將監藤原光時

職事廣橋權右中辨胤定朝臣

五三 口宣案(天明九年叙從五位下・光時)

三三・六×五一・六 cm

(旧目錄四二二二一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿甘露寺中納言

天明九年正月十八日 宣旨

正六位下藤原光時

宜叙從五位下

藏人權右中辨藤原胤定奉

五四 口宣案包紙

三四・八×七・〇 cm

(旧目錄四二二二一一〇)

〔上書〕

寛政八年二月十日 宣下

画所預

上卿日野中納言資矩卿

從五位上左近衛將監藤原光時

職事廣橋右大辨胤定朝臣

五五 口宣案(寛政八年叙從五位上・光時)

三三・一×五一・二 cm

(旧目錄四二二二一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權中納言

寛政八年二月十日 宣旨

從五位下藤原光時

宜叙從五位上

藏人頭右大辨兼中宮亮藤原胤定奉

五六 口宣案包紙

三四・〇×六・八 cm

(旧目錄四二二二〇一〇)

〔上書〕

享和三年四月五日 宣下

畫所預

上卿四辻大納言公萬卿

職事裏松左少辨明光朝臣

五七 口宣案(享和三年叙正五位下・光時)

三二・〇×四九・九 cm

(旧目錄四二二二〇一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

文化元年十二月十八日 宣旨

藤原光祿

宜叙從六位上

藏人頭右大辨兼中宮亮藤原國長奉

六四 口宣案（文化元年任上野介・光祿）

三三・九×五〇・九cm (旧目錄四二一九一〇)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

文化元年十二月十八日 宣旨

從六位上藤原光祿

宜任上野介

藏人頭右大辨兼中宮亮藤原國長奉

六五 口宣案包紙

三五・六×六・九cm (旧目錄四二一八一〇)

〔上書〕

文化八年閏二月四日 宣下

画所預

上卿甘露寺權中納言國長卿

正六位下上野介藤原光祿

職事勸修寺左少辨經則朝臣

六六 口宣案（文化八年叙正六位下・光祿）

三三・九×五二・〇cm (旧目錄四二一八一〇)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿新中納言

文化八年後二月四日 宣旨

從六位上藤原光祿

宜叙正六位下

藏人頭左少辨兼春宮權大進藤原經則奉

六七 口宣案包紙

三五・〇×七・〇cm (旧目錄四二一七一〇)

〔上書〕

文化十年三月廿二日 遷任

上卿甘露寺中納言國長卿

正六位下行左近衛將監藤原朝臣光祿

職事万里小路頭辨建房朝臣

六八 口宣案（文化十年任左近衛將監・光祿）

三三・七×五二・二cm (旧目錄四二一七一〇)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿甘露寺中納言

文化十年三月廿二日 宣旨

上野介藤原光祿

宜任左近衛將監

藏人頭左大辨兼中宮亮藤原建房奉

六九 口宣案包紙

三五・五×七・〇cm (旧目錄四二一六一〇)

〔上書〕

文政元年七月廿四日 宣下

上卿四辻大納言
享和三年四月五日 宣旨

從五位上藤原光時

宜叙五位下

藏人左少辨兼中宮權大進藤原明光奉

五八 口宣案包紙

三五・三×六・八 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[上書]

文化十年三月四日 遷任

上卿甘露寺中納言國長卿

職事万里小路頭辨建房朝臣

正五位下行伯耆守藤原朝臣光時

五九 口宣案(文化十年任伯耆守・光時)

三三・三×五一・九 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿甘露寺中納言

文化十年三月四日 宣旨

左近衛將監藤原光時

宜任伯耆守

藏人頭左大辨兼中宮亮藤原建房奉

六〇 口宣案包紙

三四・七×六・八 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[上書]

文化十一年二月二十日 宣下

上卿甘露寺中納言國長卿
職事万里小路頭辨建房朝臣
從四位下行伯耆守藤原朝臣光時

六一 口宣案(文化十一年叙從四位下・光時)

三三・四×五二・〇 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿甘露寺中納言

文化十一年二月二十日 宣旨

正五位下藤原光時

宜叙從四位下

藏人頭左大辨兼中宮亮藤原建房奉

《土佐光祿》

六二 口宣案包紙

三五・〇×七・一 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[上書]

文化元年十二月十八日 宣下 畫所預

上卿山科右衛門督忠言卿

職事甘露寺右大辨國長卿

從六位上守上野介藤原光祿

六三 口宣案(文化元年叙從六位上・光祿)

三二・八×五一・〇 cm

(旧目錄四二二一九一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿右衛門督

上卿庭田權中納言重能卿
職事廣橋右中辨光成
從五位下行左近衛將監藤原光祿

七〇 口宣案（文化元年叙從五位下・光祿）

三三・八×五二・一 cm (旧目錄四二一六―一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權中納言

文政元年七月廿四日 宣旨

正六位下藤原光祿

宜叙從五位下

藏人右中辨兼左衛門權佐中宮大進藤原光成奉

七一 口宣案包紙

三五・〇×七・〇 cm (旧目錄四二一五―〇)

〔上書〕

文政九年正月廿一日 宣下

上卿万里小路按察大納言建房卿
從五位上行左近衛將監藤原光祿

職事葉室頭辨頭孝朝臣

七二 口宣案（文政九年叙從五位上・光祿）

三三・七×五二・一 cm (旧目錄四二一五―一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿按察大納言

文政九年正月廿一日 宣旨

從五位下藤原光祿

宜叙從五位上

藏人頭右大辨藤原顯孝奉

七三 口宣案包紙

三三・九×六・九 cm (旧目錄四二一四―〇)

〔上書〕

天保四年十一月廿七日 宣下

上卿葉室中納言顯孝卿
正五位下行左近衛將監藤原光祿

職事万里小路頭辨正房朝臣

七四 口宣案（天保四年叙正五位下・光祿）

三二・五×五〇・八 cm (旧目錄四二一四―一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿葉室中納言

天保四年十一月廿七日 宣旨

從五位上藤原光祿

宜叙正五位下

藏人頭左中辨藤原正房奉

七五 口宣案包紙

三三・八×七・〇 cm (旧目錄四二一三―〇)

〔上書〕

天保六年後七月廿三日 宣下

上卿葉室中納言顯孝卿
參河守藤原朝臣光祿

職事万里小路頭辨正房朝臣

七六 口宣案（天保六年任參河守・光祿）

三二・八×五一・六cm （旧目錄四二一三一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿葉室中納言

天保六年後七月廿三日 宣旨

左近衛將監藤原光祿

宜任參河守

藏人頭左中辨兼皇太后宮亮藤原正房奉

七七 口宣案包紙

三四・八×七・〇cm （旧目錄四二二一〇）

〔上書〕

天保十五年五月六日 宣下

上卿廣橋中納言光成卿

從四位下行參河守藤原光祿

職事日野左少辨資宗

七八 口宣案（天保十五年叙從四位下・光祿）

三三・三×五一・六cm （旧目錄四二二一一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權中納言

天保十五年五月六日 宣旨

正五位下藤原光祿

宜叙從四位下

藏人頭左少辨兼右衛門權佐春宮大進藤原資宗奉

《土佐光文》

七九 口宣案包紙

三四・五×七・〇cm （旧目錄四二一六一〇）

〔上書〕

文政十一年十月十三日 宣下 畫所預

上卿勸修寺右衛門督經則卿 從六位上守肥後介藤原朝臣光文

職事万里小路左少辨正房

八〇 口宣案（文政十一年叙從六位上・光文）

三三・五×五一・八cm （旧目錄四二一六一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

文政十一年十月十三日 宣旨

藤原光文

宜叙從六位上

藏人左少辨兼左衛門權佐皇太后宮大進藤原正房奉

八一 口宣案（文政十一年任肥後介・光文）

三三・五×五一・八cm （旧目錄四二一六一二）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

文政十一年十月十三日 宣旨

從六位上藤原光文

宜任肥後介

藏人左少辨兼左衛門權佐皇太后宮大進藤原正房奉

宜任左近衛將監

藏人頭左中辨兼皇太后宮亮藤原正房奉

八二 口宣案包紙

三三・八×七・〇 cm (旧目錄四一一一五—〇)

[上書]

天保六年八月廿三日 宣下

上卿葉室中納言顯孝卿

正六位下左近衛將監藤原光文

職事万里小路頭辨正房朝臣

八五 口宣案包紙

三四・〇×六・八 cm (旧目錄四一一一四—〇)

[上書]

天保十三年正月廿九日 宣下

上卿葉室中納言顯孝卿

從五位下左近衛將監藤原光文

職事坊城右中辨俊克

八三 口宣案 (天保六年叙正六位下・光文)

三三・六×五・三 cm (旧目錄四一一一五—二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿葉室中納言

天保六年八月廿三日 宣旨

從六位上藤原光文

宜叙正六位下

藏人頭左中辨兼皇太后宮亮藤原正房奉

八六 口宣案 (天保十三年叙從五位下・光文)

三三・〇×五・一 cm (旧目錄四一一一四—一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿葉室中納言

天保十三年正月廿九日 宣旨

正六位下藤原光文

宜叙從五位下

藏人右中辨兼左衛門權佐藤原俊克奉

八四 口宣案 (天保六年任左近衛將監・光文)

三三・六×五・二 cm (旧目錄四一一一五—一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿葉室中納言

天保六年八月廿三日 宣旨

肥後介藤原光文

八七 口宣案包紙

三五・三×六・八 cm (旧目錄四一一一三—〇)

[上書]

嘉永二年後四月九日 宣旨

上卿萬里小路中納言正房卿

職事葉室右少辨藤原長順

從五位上左近衛將監藤原光文

八八 口宣案（嘉永二年叙從五位上・光文）

三四・〇×五一・五 cm (旧目錄四一一三一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿萬里小路中納言

嘉永二年後四月九日 宣旨

從五位下藤原光文

宜叙從五位上

藏人右少辨藤原長順奉

八九 口宣案包紙

三五・〇×六・七 cm (旧目錄四一一二一〇)

〔上書〕

安政三年二月五日 宣旨 正五位下左近衛將監藤原朝臣光文

上卿萬里小路中納言正房卿

職事葉室權右中辨兼左衛門權佐藤原長順朝臣

九〇 口宣案（安政三年叙正五位下・光文）

三四・〇×五一・八 cm (旧目錄四一一二一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿萬里小路中納言

安政三年二月五日 宣旨

從五位上藤原光文

宜叙正五位下

藏人權右中辨兼左衛門權佐藤原長順奉

九一 口宣案包紙

三五・二×七・〇 cm (旧目錄四一一一〇)

〔上書〕

慶応二年八月十日 宣旨 加級遷任

職事葉室藏人左少辨兼左衛門權佐藤原長邦朝臣

上卿葉室右衛門督藤原長順卿 畫所預 藤原朝臣

從四位下備前守光文

九二 口宣案（慶応二年叙從四位下・光文）

三三・八×五一・二 cm (旧目錄四一一一一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

慶応二年八月十日 宣旨

正五位下藤原光文

宜叙從四位下

藏人左少辨兼左衛門權佐藤原長邦奉

九三 口宣案（慶応二年任備前守・光文）

三三・八×五一・二 cm (旧目錄四一一一一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

慶応二年八月十日 宣旨

左近衛將監藤原光文

宜任備前守

藏人左少辨兼左衛門權佐藤原長邦奉

從六位上藤原光章

宣任伊豫介

藏人頭右大辨藤原長順奉

《土佐光章》

九四 口宣案包紙

三五・八×七・〇 cm

(旧目錄四一一八—一〇)

[上書]

文久三年三月一日

畫所預

上卿坊城大納言俊克卿

從六位上守伊豫介藤原朝臣光章

職事葉室右大辨藤原長順朝臣

九七 口宣案包紙

三五・五×七・〇 cm

(旧目錄四一一七一〇)

[上書]

慶應二年八月廿四日 宣旨

畫所預左近衛將監藤原光章

上卿葉室右衛門督長從卿

從六位上

職事同藏人左少辨兼左衛門權佐藤原長邦朝臣

九五 口宣案(文久三年叙從六位上・光章)

三三・七×五一・一 cm

(旧目錄四一一八—二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿坊城大納言

文久三年三月一日 宣旨

藤原光章

宜叙從六位上

藏人頭右大辨藤原長順奉

九八 口宣案(慶應二年任左近衛將監・光章)

三三・八×五一・二 cm

(旧目錄四一一七一—)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿右衛門督

慶應二年八月廿四日 宣旨

伊豫介藤原光章

宜任左近衛將監

藏人左少辨兼左衛門權佐藤原長邦奉

九六 口宣案(文久三年任伊豫介・光章)

三三・七×五一・〇 cm

(旧目錄四一一八—一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿坊城大納言

文久三年三月一日 宣旨

《土佐光貞》

九九 口宣案包紙

三四・〇×七・〇 cm

(旧目錄四一一二七一〇)

[上書]

寶曆四年正月二十六日

上卿烏丸中納言光胤卿

從六位上行内匠大屬光貞

職事日野左少辨資枝

從六位上藤原光貞

宜叙正六位下

一〇〇 口宣案(宝曆四年叙從六位上任内匠大属・光貞)

藏人左少辨藤原伊光奉

三三・〇×五一・四 cm (旧目錄四一一―二七一)

〔端裏書〕

一〇三 口宣案包紙

三三・八×六・九 cm (旧目錄四一一―二五〇)

口宣案

〔上書〕

上卿日野中納言

寶曆十三年正月十六日轉任

寶曆四年正月二十六日 宣旨

上卿難波中納言宗城卿

内匠大允藤原光貞

藤原光貞

職事廣橋權左中辨伊光

宜叙從六位上任

内匠大属

一〇四 口宣案(宝曆十三年任内匠大允・光貞)

藏人右少辨藤原資枝奉

三三・二×五一・〇 cm (旧目錄四一一―二五一一)

一〇一 口宣案包紙

〔端裏書〕

三四・三×七・〇 cm

(旧目錄四一一―二六一〇)

〔上書〕

口宣案

〔上書〕

〔表裏書〕

寶曆十一年四月二十四日

上卿難波中納言

上卿正親町大納言實連卿

内匠大属藤原光貞

職事廣橋左少辨伊光

宜轉任大允

一〇二 口宣案(宝曆十一年叙正六位下・光貞)

藏人権左中辨藤原光祖奉

三三・二×五〇・五 cm

(旧目錄四一一―二六一一)

〔端裏書〕

一〇五 口宣案包紙

口宣案

〔上書〕

〔表裏書〕

明和元年閏十二月十九日

上卿正親町大納言

上卿廣橋權大納言兼胤卿

左近衛將監藤原光貞

寶曆十一年四月廿四日 宣旨

職事烏丸権右中辨光祖

寶曆十一年四月廿四日 宣旨

一〇六 口宣案（明和元年任左近衛將監・光貞）

三二・五×五〇・五 cm (旧目錄四一一二四一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿權大納言

明和元年後十二月十九日 宣旨

内匠大允藤原光貞

宜任左近衛將監

藏人權右中辨藤原光祖奉

一〇七 口宣案包紙

三四・〇×七・〇 cm (旧目錄四一一三三一一〇)

〔上書〕

明和五年十月二十日叙爵

上卿廣幡大納言輔忠

職事廣橋頭辨伊光朝臣

從五位下行左近衛將監藤原朝臣光貞

一〇八 口宣案（明和五年叙從五位下・光貞）

三三・〇×五〇・六 cm (旧目錄四一一三三一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿源大納言

明和五年十月二十日 宣旨

正六位下藤原光貞

宜叙從五位下

藏人頭右大辨藤原伊光奉

一〇九 口宣案包紙

三五・五×七・〇 cm (旧目錄四一一三三一一〇)

〔上書〕

安永四年正月廿三日加階轉任

職事烏丸頭辨光祖朝臣

上卿柳原中納言光布施卿

從五位上土佐守藤原光貞

一一〇 口宣案（安永四年叙從五位上・光貞）

三四・一×五二・一 cm (旧目錄四一一三三一一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

安永四年正月廿三日 宣旨

從五位下藤原光貞

宜叙從五位上

藏人頭左大辨藤原光祖奉

一一一 口宣案（安永四年任土佐守・光貞）

三四・〇×五二・二 cm (旧目錄四一一三三一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

安永四年正月廿三日 宣旨

左近衛將監藤原光貞

宜任土佐守

藏人頭左大辨藤原光祖奉

一一二 口宣案包紙

三四・七×六・八 cm

(旧目錄四一一二一〇)

[上書]

天明二年十月廿五日 宣下

上卿松木權中納言宗義卿

正五位下行土佐守藤原朝臣光貞

職事油小路頭中將隆彰朝臣

一一三 口宣案(天明二年叙正五位下・光貞)

三四・〇×五二・二 cm

(旧目錄四一一二一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿權中納言

天明二年十月廿五日 宣旨

從五位上藤原光貞

宜叙正五位下

藏人頭左近衛權中將藤原隆彰奉

一一四 口宣案包紙

三四・八×六・九 cm

(旧目錄四一一二〇一〇)

[上書]

寛政四年十二月十九日 宣下

上卿轉法輪右大將實起卿

從四位下行土佐守藤原朝臣光貞

職事廣橋頭辨胤定朝臣

一一五 口宣案(寛政四年叙從四位下・光貞)

三四・四×五二・〇 cm

(旧目錄四一一二〇一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿右大將

寛政四年十二月十九日 宣旨

正五位下藤原光貞

宜叙從四位下

藏人頭左中辨藤原胤定奉

一一六 口宣案包紙

三二・八×六・八 cm

(旧目錄四一一一九一〇)

[上書]

享和二年二月十一日 宣下

上卿廣橋中納言兼左衛門督胤定卿 從四位上藤原光貞

職事烏丸頭辨資董朝臣

一一七 口宣案(享和二年叙從四位上・光貞)

三一・三×四六・七 cm

(旧目錄四一一一九一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿左衛門督

享和二年二月十一日 宣旨

從四位下藤原光貞朝臣

宜叙從四位上

藏人頭左中辨藤原資董奉

《土佐光孚》

一一八 口宣案包紙

三六・〇×七・一 cm (旧目錄四一一三六一〇)

〔上書〕

寛政二年十二月十八日 宣下

上卿甘露寺按察使中納言 書所預備後介從六位上藤原光孚

職事柳原左少辨均光

一一九 口宣案(寛政二年叙從六位上・光孚)

三四・二×五二・四 cm (旧目錄四一一三六一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿按察中納言

寛政二年十二月十八日 宣旨

藤原光孚

宜叙從六位上

藏人左少辨兼右衛門權佐藤原均光奉

一二〇 口宣案(寛政二年任備後介・光孚)

三四・二×五二・二 cm (旧目錄四一一三六一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿按察中納言

寛政二年十二月十八日 宣旨

從六位上藤原光孚

宜任備後介

藏人左少辨兼右衛門權佐藤原均光奉

一二一 口宣案包紙

三三・八×七・〇 cm

(旧目錄四一一三五一〇)

〔上書〕

寛政九年二月七日 宣下

上卿日野大納言資矩卿

職事柳原頭辨均光朝臣

正六位下藤原朝臣光孚

一二二 口宣案(寛政九年叙正六位下・光孚)

三三・〇×五一・三 cm (旧目錄四一一三五一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

寛政九年二月七日 宣旨

從六位上藤原光孚

宜叙正六位下

藏人頭左中辨藤原均光奉

一二三 口宣案包紙

三四・〇×六・八 cm

(旧目錄四一一三四一〇)

〔上書〕

享和四年正月廿三日叙爵

上卿廣橋大納言胤定卿

職事甘露寺頭辨國長朝臣

從五位下藤原朝臣光孚

一二四 口宣案(享和四年叙從五位下・光孚)

三三・〇×五一・〇 cm (旧目錄四一一三四一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿新大納言

享和四年正月廿三日 宣旨

正六位下藤原光孚

宜叙從五位下

藏人頭權右中辨藤原國長奉

一二五 口宣案包紙

三四・〇×六・八 cm

(旧目錄四一一三三二〇)

〔上書〕

文化三年十月廿七日遷任

上卿廣橋權大納言胤定卿

職事日野頭辨資愛朝臣

從五位下行土佐守藤原朝臣光孚

一二六 口宣案(文化三年任土佐守・光孚)

三二・八×五〇・九 cm

(旧目錄四一一三三一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿廣橋大納言

文化三年十月廿七日 宣旨

備後介藤原光孚

宜遷任土佐守

藏人頭權右中辨藤原資愛奉

一二七 口宣案包紙

三五・〇×六・八 cm

(旧目錄四一一三二一〇)

〔上書〕

文化八年二月十六日 宣下

上卿甘露寺權中納言國長卿

職事勤修寺左少辨經則

從五位上藤原朝臣光孚

一二八 口宣案(文化八年叙從五位上・光孚)

三三・八×五一・九 cm

(旧目錄四一一三三一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿新中納言

文化八年二月十六日 宣旨

從五位下藤原光孚

宜叙從五位上

藏人左少辨兼春宮權大進藤原經則奉

一二九 口宣案包紙

三五・五×七・〇 cm

(旧目錄四一一三二一〇)

〔上書〕

文政元年六月廿四日 宣下

上卿日野中納言資愛卿

職事廣橋右中辨光成

正五位下藤原朝臣光孚

一三〇 口宣案(文政元年叙正五位下・光孚)

三三・七×五二・〇 cm

(旧目錄四一一三二一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

文政元年六月廿四日 宣旨

從五位上藤原光孚

宣令叙正五位下

藏人右中辨兼左衛門權佐中宮大進藤原光成奉

一三一 口宣案包紙

三四・五×六・九 cm

(旧目錄四一一一三〇一〇)

〔上書〕

文政十二年十二月廿一日 宣下

上卿万里小路按察使大納言建房卿 從四位下藤原朝臣光孚

職事万里小路左少辨止房

一三二 口宣案(文政十二年叙從四位下・光孚)

三三・五×五二・〇 cm

(旧目錄四一一一三〇一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿按察大納言

文政十二年十二月廿一日 宣旨

正五位下藤原光孚

宣叙從四位下

藏人左少辨兼左衛門權佐皇太后宮大進藤原正房奉

一三三 口宣案包紙

三四・一×七・〇 cm

(旧目錄四一一二九一〇)

〔上書〕

天保十一年三月四日 宣下

上卿三條大納言實萬卿

職事甘露寺右中辨愛長

從四位上藤原朝臣光孚

一三四 口宣案(天保十一年叙從四位上・光孚)

三三・四×五一・三 cm

(旧目錄四一一二九一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿皇太后權大夫)

天保十一年三月四日 宣旨

從四位下藤原光孚朝臣

宣叙從四位上

藏人右中辨兼右衛門權佐皇太后宮大進藤原愛長奉

一三五 口宣案包紙

三六・二×七・〇 cm

(旧目錄四一一二八一〇)

〔上書〕

嘉永五年四月四日 宣下

上卿萬里小路中納言正房卿

職事葉室左少辨長順

正四位下藤原朝臣光孚

一三六 口宣案(嘉永五年叙正四位下・光孚)

三四・〇×五一・五 cm

(旧目錄四一一二八一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿萬里小路中納言

嘉永五年四月四日 宣旨

從四位上藤原光孚朝臣

宜叙正四位下

藏人左少辨藤原長順奉

上卿右衛門督

文化十一年十月十日 宣旨

從六位上藤原光清

宜任豐前介

藏人左少辨兼中宮權大進藤原光成奉

《土佐光清》

一三七 口宣案包紙

三六・〇×七・〇 cm (旧目錄四一一一五一〇)

〔上書〕

文化十一年十月十日 宣下

畫書預

上卿日野權中納言兼右衛門督資愛卿 豐前介從六位上藤原光清

職事廣橋左少辨光成

一四〇 口宣案包紙

三五・二×七・二 cm (旧目錄四一一一四一〇)

〔上書〕

文政四年二月三十日 宣下

上卿日野大納言資愛卿

正六位下藤原朝臣光清

職事廣橋頭辨光成朝臣

一三八 口宣案 (文化十一年叙從六位上・光清)

三三・五×五二・〇 cm (旧目錄四一一一五一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿右衛門督

文化十一年十月十日 宣旨

藤原光清

宜叙從六位上

藏人左少辨兼中宮權大進藤原光成奉

一四一 口宣案 (文政四年叙正六位下・光清)

三三・三×五一・五 cm (旧目錄四一一一四一一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野大納言

文政四年二月三十日 宣旨

從六位上藤原光清

宜叙正六位下

藏人頭左中辨兼皇太后宮亮藤原光成奉

一三九 口宣案 (文化十一年任豐前介・光清)

三三・七×五二・〇 cm (旧目錄四一一一五一二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

一四二 口宣案包紙

三四・六×七・〇 cm (旧目錄四一一一三一〇)

〔上書〕

文政十一年二月廿日 宣下

上卿万里小路按察大納言建房卿 伊勢守從五位下藤原朝臣光清
職事万里小路左少辨正房

一四三 口宣案(文政十一年叙從五位下・光清)

三三・五×五一・八 cm (旧目錄四一一・三一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿按察大納言

文政十一年二月二十日 宣旨

正六位下藤原光清

宜叙從五位下

藏人左少辨兼左衛門權佐皇太后宮大進藤原正房奉

一四四 口宣案(文政十一年任伊勢守・光清)

三三・四×五一・八 cm (旧目錄四一一・三一二)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿按察大納言

文政十一年二月二十日 宣旨

豊前介藤原光清

宜遷任伊勢守

藏人左少辨兼左衛門權佐皇太后宮大進藤原正房奉

一四五 口宣案包紙

三四・一×六・九 cm

(旧目錄四一一・二一〇)

[上書]

天保六年九月廿八日 宣下

上卿葉室中納言顯孝卿 從五位上藤原朝臣光清

職事万里小路頭辨正房朝臣

一四六 口宣案(天保六年叙從五位上・光清)

三二・九×五一・六 cm (旧目錄四一一・二一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿葉室中納言

天保六年九月廿八日 宣旨

從五位下藤原光清

宜叙從五位上

藏人頭左中辨兼皇太后宮亮藤原正房奉

一四七 口宣案包紙

三三・二×六・六 cm (旧目錄四一一・二一〇)

[上書]

天保十三年正月廿二日 宣下

上卿廣幡新源大納言基豊卿 正五位下藤原朝臣光清

職事坊城權右中辨俊克

一四八 口宣案(天保十三年叙正五位下・光清)

三二・八×五一・二 cm (旧目錄四一一・二一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿新源大納言

天保十三年正月廿二日 宣旨

從五位上藤原光清

宜叙正五位下

藏人權右中辨兼左衛門權佐藤原俊克奉

一四九 口宣案包紙

三五・二×六・七 cm

(旧目錄四一一一〇一〇)

[上書]

嘉永五年七月二十日遷任

上卿萬里小路中納言正房卿

正五位下行土佐守藤原朝臣光清

職事葉室左少辨長順

一五〇 口宣案(嘉永五年任土佐守・光清)

三四・〇×五一・三 cm

(旧目錄四一一一〇一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿萬里小路中納言

嘉永五年七月二十日 宣旨

伊勢守藤原光清

宜遷任土佐守

藏人左少藤原長順奉

一五一 口宣案包紙

三五・二×六・六 cm

(旧目錄四一一一九一〇)

[上書]

嘉永七年正月廿二日 宣下

上卿萬里小路中納言正房卿

從四位下藤原朝臣光清

職事葉室權右中辨長順

一五二 口宣案(嘉永七年叙從四位下・光清)

三四・〇×五一・三 cm

(旧目錄四一一一九一一)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿萬里小路中納言

嘉永七年正月廿二日 宣旨

正五位下藤原光清

宜叙從四位下

藏人權右中辨兼左衛門權佐藤原長順奉

《土佐光武》

一五三 口宣案包紙

三五・五×七・一 cm

(旧目錄四一一一八一〇)

[上書]

嘉永七年十月十四日 宣下

上卿萬里小路中納言正房卿

職事葉室權右少辨藤原長順

書所預

豊前介從六位上藤原光武

一五四 口宣案(嘉永七年叙從六位上・光武)

三三・六×五一・四 cm

(旧目錄四一一一八一〇)

[端裏書]

口宣案

[表墨書]

上卿萬里小路中納言

嘉永七年十月十四日 宣旨

藤原光武

宜叙從六位上

藏人權右中辨兼左衛門權佐藤原長順奉

一五五 口宣案（嘉永七年任豊前介・光武）

三三・六×五一・四 cm (旧目錄四一一一八―二)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿萬里小路中納言

嘉永七年十月十四日 宣旨

從六位上藤原光武

宜任豊前介

藏人權右中辨兼左衛門權佐藤原長順奉

一五六 口宣案包紙

三四・七×六・八 cm (旧目錄四一一一七―〇)

〔上書〕

文久元年四月五日 宣下

上卿三條西中納言季知卿

職事葉室右大辨藤原長順

畫所預

正六位下豊前介藤原光武

一五七 口宣案（文久元年叙正六位下・光武）

三三・四×五一・二 cm (旧目錄四一一一七―一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿三條西中納言

文久元年四月五日 宣旨

從六位上藤原光武

宜叙正六位下

藏人頭右大辨藤原長順奉

一五八 口宣案包紙

三五・二×六・七 cm (旧目錄四一一一六―〇)

〔上書〕

文久三年五月廿一日

遷任土佐介

職事萬里小路藏人權右中辨兼右衛門權佐藤原博房朝臣

上卿 日野新大納言藤原資宗卿 土佐土佐介

一五九 口宣案（文久三年土佐介・光武）

三三・八×五一・〇 cm (旧目錄四一一一六―一)

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿新大納言

文久三年五月廿一日 宣旨

豊前介藤原光武

宜遷任土佐介

藏人權右中辨兼右衛門權佐藤原博房奉

《大村豊泉》

一六〇 口宣案・宣旨包紙（寛政四年）

三七・〇×七・二 cm (旧目錄四一一一七―〇)

〔上書〕

故大村豊水法橋口 宣案 宣旨式通養子豊泉

今度大村家離縁二付豊泉ヨリ預ル

于時寛政四子年閏二月八日

一六一 口宣案（明和三年叙法橋・大村豊水）

三四・二×五〇・六cm （旧目錄四二一―一七一）

〔端裏書〕

口宣案

〔表墨書〕

上卿日野中納言

明和三年八月二日 宣旨

豊水

宜叙法橋

藏人頭左中辨藤原伊光奉

一六二 宣旨（明和三年叙法橋・大村豊水）

三六・八×五三・七cm （旧目錄四二一―一七一）

〔表墨書〕

豊水

左中辨藤原朝臣伊光傳宣

權中納言藤原朝臣資枝宣奉

勅件人宜叙法橋者

明和三年八月二日 修理東大寺大佛長官主殿頭兼左大史小槻宿祢（花押）奉